

令和 5 年 6 月 11 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18H00796

研究課題名(和文)空間と法の相互規定性から見た公法学の再構築 学際的アプローチ

研究課題名(英文)Reconstructing Public Law Jurisprudence from the Perspective of the Interdependence of Space and Law: An Interdisciplinary Approach

研究代表者

角松 生史(KADOMATSU, Narufumi)

神戸大学・法学研究科・教授

研究者番号：90242049

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：現在日本では、(1)人間の活動空間の縮小、(2)スポンジ化の形で進行する都市の縮退、(3)領域的国民国家による空間管理の意義の低下、(4)居住と出会いの場としての空間の階層的分断といった、空間の変容がもたらす諸課題が深刻になっている。この状況に鑑み、空間と法の相互規定性を重視した思考様式を法律学に導入すべきではないか(法律学の空間論的転回)というのが本研究の問題意識だった。この課題に対して、人文・社会諸科学における理論的蓄積と比較法的・歴史的分析を踏まえた学際的接近により取り組んだ。共同研究会の開催と、それを踏まえたシンポジウム、ワークショップ開催等により研究活動を展開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、何よりも、科研費研究成果公開促進費の助成を受けて刊行された著書『縮小社会における法的空間-ケアと包摂』(日本評論社、2022年2月)にまとめられている。また国際シンポジウム及び3回のワークショップを開催し、その成果の一部を学術雑誌(神戸法学雑誌69巻2号、Zeitschrift fuer Japanisches Recht Nr.50)で公表した。加えて、研究分担者等が個別の研究業績で成果を公表した。

研究成果の概要(英文)：In contemporary Japan, the ongoing transformation of space has led to many significant challenges that are increasingly problematic. These include: (1) the shrinkage of space for human activities, (2) the urban shrinkage phenomenon known as "spongification", (3) the declining importance of territorial-based nation-states in spatial management, and(4) the hierarchical fragmentation of space as a place of residence and encounter. Given this situation, the primary objective of this study was to explore the possibility of a "spatialist turn" in jurisprudence, which emphasizes the interdependence of space and law.

To address this issue, an interdisciplinary approach was adopted, incorporating research findings from the humanities and social sciences, as well as comparative and historical analyses. The research activities were conducted through collaborative research meetings, symposiums, workshops, and other related events.

研究分野：行政法・都市法

キーワード：空間 スケール ネットワーク インタラクション

1. 研究開始当初の背景

現在日本では、人口減少の帰結としての居住空間の縮小がもたらす諸課題が深刻になっている。

第1に、人口減少がもたらす人間の活動空間の縮小が、地域空間の維持管理を困難にする。自然林と集落との中間にある里山では、人間活動を前提として存立している生態系の維持が困難になっている。中山間部では、耕作放棄地が増加し、鳥獣被害等が深刻化している。また、面積的に九州を上回るとされる所有者不明地が、当該土地及び隣接地の管理を難しくしている。

第2に、都市の縮退がもたらす課題である。欧米諸国と同様、日本の都市政策・都市計画は、都市の一方向的拡大を前提とする「都市化社会」から、既成市街地の再構築が課題となる「都市型社会」を経て、人口減少を背景とした「都市縮退」が主要な課題となるに至っている。しかし都市の縮退といっても、現実に進行するのは都市の「大きさが変わらず、内部に小さな孔がランダムにあいていく動き」としてのスポンジ化であり、政策的対応が不可欠となる。

第3に、空間利用構造の変容による課題である。経済のグローバル化の進展により、物理的距離と時間的距離（二地点間の所要時間）の乖離が、空間の利用構造をより複雑にする。また、無距離の空間であるサイバー空間における取引の重要性が増大している。グローバル空間とサイバー空間の比重の増大は、領域的国民国家による空間管理の意義を低下させることになる。

第4に、人々の居住と出会いの場としての空間の包括的把握と階層的分断である。政府が構築を進めている地域包括ケアシステムは、ニーズに応じた住宅と、医療・介護等の生活支援サービスが日常生活圏域で適切に提供できる体制の構築を目指すものであるが、それは一定の空間範囲上に人間のネットワークを配置していこうとする試みと言い換えることができる。他方で、いわゆる「ゲートッド・コミュニティ」に象徴されるようなさまざまな社会階層間における居住の分断は、異質な人々の間の出会いとネットワーク構築を困難にしている。

2. 研究の目的

1で見たように、縮小社会と空間の変容は公法学を初めとする法律学諸分野に深刻な諸課題を投げかけているが、さしあたり公法学においては、以下のような課題を見出すことができる。

(ア)規模・性質が異なる空間相互の交錯 国民国家という空間的境界の意義が低下し、グローバル・ナショナル・ローカルという異なる空間スケールにおいて作動する法の相互関係、また、現実の空間とサイバー空間という性質が異なる空間の相互関係の把握が課題となる。

(イ)公共空間の私化と私的空間への公的介入 従来政府によってコモンズ的に提供されてきた公共空間の維持管理が私人に委ねられる現象（住民団体への公園管理の委託、エリアマネジメント団体による各種施設の管理等）、利用者の共有空間を私企業が創出する現象も増加している一方で、私的空間に対する公的介入を認める法制度の重要性が増大している（空き家対策・所有者不明地対策等）。さらに、児童虐待防止法、DV防止法などの法制度は、更新を重ねつつ、従来親密領域とされてきた空間に対する国家及び法の関わり方を問い直している。

(ウ)遭遇と語り合いの空間 民主政は、例えばギリシャにおける広場（アゴラ）や西洋近代のコーヒーハウスやサロンなどの、人々の遭遇と語り合い（エンカウンター）の場としての物理的空間の存在を基盤としてきた。しかし、上で見た公共空間の変容は、そのような空間の一定のあり方を所与の前提とすることを許さず、法がそれら空間のあり方を制御する必要性を増大させている。

これらの空間的課題に対して、従来の法律学は必ずしも敏感だったとは言えない。もちろん国土法制・都市計画法制など空間を直接制御の対象とする法分野はあるが、それらを除けば、法律学全体としては、空間の法的位置付けが重要な意義を占めていたわけではない。しかし人間は、空間の中の一定の場所を占有して存在し、空間の中を移動しつつ、自身の生活と他者とのコミュニケーションを営んでいる。空間なくして人間活動はあり得ない。他方で人間活動は、必然的に空間の変容をもたらす。だとすれば、法のあり方は必然的に人間の活動領域としての空間に規定されているのではないか（法のインフラストラクチャーとしての空間）。また、アーキテクチャ論に対する関心が近年高まっているが、法は、物理的空間やサイバー空間のあり方を規定することを通じて、アーキテクチャとして人々の行動を規定しているのではないか（空間的アーキテクチャとしての法）。このような空間と法の相互規定性をより重視した思考様式を法律学に導入することが（いわば「法律学の空間論的転回」）が課題となる。

3. 研究の方法

上の「法律学の空間論的転回」という課題に対して、人文・社会諸科学における理論的蓄積と比較法的・歴史的分析を踏まえた学際的接近により取り組んだ。研究組織を「制度・実態分析班」、「理論・歴史分析班」に編成し、学際的対話を活性化するための重点キーワード（「スケール」、「ネットワーク」、「インタラクション」）を設定し、共同研究会の開催と、それを踏まえたシンポジウム、ワークショップや、共同著作『縮小社会における法的空間-ケアと包摂』及び研究代表者・研究分担者・連携研究者の個別研究業績として、研究成果を発信した。

4. 研究成果

4.1 著書『縮小社会における法的空間-ケアと包摂』

本研究の成果は、何よりも、JSPS 科研費 2021 年度研究成果公開促進費（学術図書）課題番号

21HP5111の助成を受けて刊行された著書『縮小社会における法的空間—ケアと包摂』(日本評論社、2022年2月)にまとめられている。以下に同書の目次を掲げる。

- 序章(角松生史)
- <第1部空間と法の相互規定性>
- 第1章空間利用の公—私境界:縮小社会における変容(角松生史)
- 第2章日本の都市においてジェントリフィケーションを理解するために—公共空間からのアプローチ(原口剛)
- 第3章交渉促進規範としての解除権とオプション権—縮小社会におけるホールドアウト問題の私法的規律(山本顯治)
- 第4章コービン労働党とBrexit—社会空間のTPSN図式による一考察(進藤兵)
- 第5章内心の自由の輪郭素描の試み—一人の生活空間における内心の憲法的保護(佐々木弘通)
- 第6章学級という空間の融解、あるいは、子どもの欲求の不可視化(世取山洋介)
- <第2部ケアと包摂>
- 第7章社会保障の法理念と規範理論—ケアの倫理との関係を中心に(西村淳)
- 第8章心理療法の多元的アプローチと個別化されたケア—ケアの受け手が与え手と共創するケアのあり方(都築幸恵)
- 第9章ケアリングとしての歴史学へ(小田中直樹)
- 第10章縮小社会における子ども・子育て支援と学校教育—選択の保障と子ども及び保護者の法的地位(横田光平)
- 第11章持続可能な発展(桑原勇進)
- 第12章不可能で必要な責務としての空間計画—原発被災地域の自然(じねん)的实践として現れる「選びようがない共生」(窪田亜矢)
- 第13章包摂と排除の機制における二者性の問題—共同する他者から触発する他者へ(小玉重夫)
- 第14章コミュニティ・アクションの誕生—1970年代の危機と福祉国家史の再検討(長谷川貴彦)

4. 2 シンポジウム・公開ワークショップ

また、以下のシンポジウム・公開ワークショップで研究成果を公表した(研究代表者・研究分担者・連携研究者・研究協力者については敬称略)。

① 東アジア土地収用制度に関するワークショップ(2019/3/2、神戸大学、東アジア土地収用研究会(JSPS 科研費 18KK0033)との共催)

報告:(1)角松生史(神戸大学)「日本土地収用法における『私益収用』と生活再建補償」、楊雅舒氏(大阪学院大学)「中国における収用と補償」、(2)李明芝氏(大阪大学(当時))「台湾の土地収用制度における公共利益の認定について」、(3)ソ・ヌリ(神戸大学)「私人のための公用収用における『公共の必要』の意義—韓国憲法裁判所判例を素材に」、(4)松本未希子(神戸大学)「中国における『基層群衆性自治組織』の法的統制」

コメント:兪珍式(韓国・全北大学校)、陳立夫教授(台湾・国立政治大学)、朱芒教授(中国・上海交通大学)

同ワークショップの成果は、神戸法学雑誌 69 巻 2 号 195-407 頁(2019年)に掲載されている。

② ワークショップ(2019/3/22、上智大学)

報告:最首悟名誉教授(和光大学)「通態としての二者性」

小報告:角松生史(神戸大学)「空間を媒介とした関係の法的保護—互換的利害関係及び生活再建補償を例として」

③ 国際ワークショップ”Regulation and governance in an interdisciplinary perspective”(2020/3/6、KULルーヴェン(ベルギー)。同大学 Global Governance Centre 及び神戸大学エコノミー大学院プログラムとの共催)

報告:(1)小田中直樹(東北大学)「Narrating the ‘city problem’ and ‘city policy’ in postwar France: The case of Montpellier」(コメント:Chris Kesteloot 名誉教授(KU ルーヴェン))、(2)西村淳(神奈川保健福祉大学)「Structure of personal social services in the regional space - in the context of Japanese community care policy」(コメント、Dimitri Vanoverbeke(KU Leuven(当時))、Deborah Giustini 客員教授(KU Leuven))、(3)角松生史「Formation of regional space by private agreements-Is it legitimate to determine the destiny of common space by a majority vote of stakeholders without democratic political decision-making?」(コメント:Stefaan Voet 教授(KU Leuven))。(併せて、研究協力者松本未希子がエコノミー大学院プログラム参加者として、「Legal Personality and Management of Collectively Owned Property in China: A Study of Rural Collective Economic Organizations」と題する報告を行った)

同シンポジウムの成果は、Zeitschrift für Japanisches Recht Nr.50(2020) S.49-73に掲載されている。

④ワークショップ「財産権というレトリック・メタファ」(2023/2/11、神戸大学。JSPS 科研費 20K20743 及び東アジア土地収用研究会と共催)

報告:田村善之氏(東京大学)、コメント:青沼智氏(国際基督教大学)、角松生史(神戸大学)

同ワークショップの成果は、『知的財産法政策学の旅』(勁草書房、2023 年刊行予定)への掲載が予定されている。

4. 3 共同研究会

研究期間中に 13 回の共同研究会と 4 回の研究打ち合わせを開催した。共同研究会では研究分担者等による報告に加えて、ゲスト講師(饗庭伸氏(首都大学東京都市環境科学研究科教授)、朱穎嬌氏(京都大学大学院法学研究科博士課程(当時))、中山茂樹氏(京都産業大学法学部教授)、平良小百合氏(京都女子大学法学部准教授)(当時))による報告・コメントを頂いた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計118件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 6件 / うちオープンアクセス 31件）

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 222-1
2. 論文標題 指定管理者による公の施設の管理と国家賠償責任の所在	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 49-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 -
2. 論文標題 Emergence of Unoccupied House Problem in Japan and Legal Measures Towards This Issue	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/978-981-15-6641-7_1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 -
2. 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer	6. 最初と最後の頁 61-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/978-981-15-6641-7_5	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 50
2. 論文標題 The Formation of Regional Spaces by Agreements	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6. 最初と最後の頁 49-63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 -
2. 論文標題 「管理型」都市計画法制について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 巨理格 / 内海麻利編 『縮退の時代の「管理型」都市計画』(第一法規)	6. 最初と最後の頁 44-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 101
2. 論文標題 インターネットを利用した表現活動とヘイトスピーチ対策	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 GLOBE	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 36
2. 論文標題 行政法からみた養子法 - もしくは子どもの権利条約からみた養子法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 家族 < 社会と法 >	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 1766
2. 論文標題 市が運営する家庭の保育事業における乳児の死亡につき家庭保育福祉員の民事上の責任及び市の国家賠償責任が認められた事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 賃金と社会保障	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 消費者撤回権の経済的合理性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 細江守紀編著『法と経済学の基礎と展開 -民事法を中心に』（勁草書房）	6. 最初と最後の頁 63-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Current historians of the world, de-nationalhistoricize ourselves!: Reading the Writing the Nation series in Globalized Age	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Review of World Histories	6. 最初と最後の頁 163-174
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1163/22879811-12340073	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 54
2. 論文標題 La Pergola: Un grand ensemble résidentiel a Montpellier (1960-2010). Evolution socio-spatiale et politique de la ville	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Etudes Héraultaises	6. 最初と最後の頁 185-197
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 -
2. 論文標題 Narrative Structures of High School World History Textbooks in Contemporary Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Stefan Berger, et al., eds., Analysing Historical Narratives, Bergharn Books	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jun Nishimura	4. 巻 50
2. 論文標題 The Legal Structure of Personal Social Services in Regional Spaces	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6. 最初と最後の頁 65-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 10
2. 論文標題 伊方原発3号機運転差止仮処分命令申立事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 環境法研究	6. 最初と最後の頁 85-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 10
2. 論文標題 フッ素土壌汚染損失補償等請求事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 環境法研究	6. 最初と最後の頁 155-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 21
2. 論文標題 公害防止事業費事業者負担法施行前の行為につき同法に基づいてなされた負担金決定の憲法適合性等	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 民事判例	6. 最初と最後の頁 118-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木弘通	4. 巻 82
2. 論文標題 学界展望 憲法 二 人権	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 公法研究	6. 最初と最後の頁 259-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 86
2. 論文標題 「都市における『公園』」の再考 -事例研究：繁華街・渋谷における宮下公園の変容	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1001-1011
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.86.1001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 50
2. 論文標題 教育法学の境界—新自由主義教育改革の新段階のもとでの再定位—	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育法学会年報	6. 最初と最後の頁 23-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本圭 / 小玉重夫	4. 巻 46
2. 論文標題 対談：教育におけるポピュリズムと政治	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室紀要	6. 最初と最後の頁 67-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1163/22879811-12340073	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長谷川 貴彦	4. 巻 62(3)
2. 論文標題 社会史から : コメント	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史と経済	6. 最初と最後の頁 32-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 70(3)
2. 論文標題 法の影の下の景観協議 景観法と法の表出的機能	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 -
2. 論文標題 序章	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 -
2. 論文標題 空間利用の公-私境界	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 21-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 -
2. 論文標題 日本の都市においてジェントリフィケーションを理解するために	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 46-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 交渉促進規範としての解除権とオプション権	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 63-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 進藤兵	4. 巻 -
2. 論文標題 コービン労働党とBrexit	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 93-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木弘通	4. 巻 -
2. 論文標題 内心の自由の輪郭素描の試み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 131-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 -
2. 論文標題 学級という空間の融解、あるいは、子どもの欲求の不可視化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 151-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村淳	4. 巻 -
2. 論文標題 社会保障の法理念と規範理論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 177-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 都築幸恵	4. 巻 -
2. 論文標題 心理療法の多元的アプローチと個別化されたケア	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 197-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田中直樹	4. 巻 -
2. 論文標題 ケアリングとしての歴史学へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 212-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 -
2. 論文標題 縮小社会における子ども・子育て支援と学校教育	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 228-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 -
2. 論文標題 持続可能な発展	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 252-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 -
2. 論文標題 不可能で必要な責務としての空間計画	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 267-289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 -
2. 論文標題 包摂と排除の機制における二者性の問題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 290-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川貴彦	4. 巻 -
2. 論文標題 コミュニティ・アクションの誕生	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 角松/山本/小田中/窪田編『縮小社会における法的空間』	6. 最初と最後の頁 304-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu/Takeshi Shimamura/Kenji Takeuchi	4. 巻 -
2. 論文標題 Appropriate Rules for Protecting the Environment: Environmental Law	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Yanagawa/Takahashi/Ouchi (eds.), Econo-Legal Studies	6. 最初と最後の頁 209-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-16-5145-8_9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史/饗庭未希子/尾下悠希	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 翻訳: ローネン・アブラハム/キンバリー・ユラッコ「不法行為と差別」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神戸法学雑誌	6. 最初と最後の頁 193-299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 角松生史/尾下悠希/饗庭未希子	4. 巻 71(3)
2. 論文標題 翻訳: キンバリー・ユラッコ/ローネン・アブラハム「黒人の生命の金銭的評価: 不法行為損害賠償算定における人種に基づく統計表の使用に対する憲法上の異議」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神戸法学雑誌	6. 最初と最後の頁 99-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 角松生史/尾下悠希/饗庭未希子	4. 巻 71(3)
2. 論文標題 訳者解題：「不法行為と差別」「黒人の生命の金銭的評価」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 神戸法学雑誌	6. 最初と最後の頁 175-206
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 123
2. 論文標題 教育における加速主義をめぐるいくつかの問題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育哲学研究	6. 最初と最後の頁 79-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 9
2. 論文標題 戦後教育学は子どもと政治をどうとらえてきたか・序説	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 子ども学	6. 最初と最後の頁 33-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 -
2. 論文標題 In Search of a Way to Form the Autonomous People: The Actuality, Social Influence, and Internationality of Historical Studies in the Second Half of 20th Century Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Q. Edward Wang, et al., eds., Western Historiography in Asia	6. 最初と最後の頁 611-625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 72(1)
2. 論文標題 里親委託の両義的性格に関する法的考察 - 行政法学と民法学の協働	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 法と政治	6. 最初と最後の頁 611-643
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 -
2. 論文標題 児童福祉法の基本構造と民法	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 鈴木/横田編『子ども虐待の克服をめざして』	6. 最初と最後の頁 123-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 契約類型の戦略的選択 -Strategy of Contract Choice-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 山本敬三、後藤巻則他編『法律行為法・契約法の課題と展望』（成文堂）	6. 最初と最後の頁 217-243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村淳	4. 巻 -
2. 論文標題 地域共生社会における地域福祉法制	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 西村淳編著『地域共生社会と社会福祉』	6. 最初と最後の頁 32-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 8
2. 論文標題 Legal countermeasures against COVID-19 in Japan: effectiveness and limits of non-coercive measures	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 China-EU Law Journal	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12689-022-00093-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 角松生史/ソ・ヌリ	4. 巻 -
2. 論文標題 阿部先生の被災者支援論	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 阿部泰隆編著『行政法学の変革と希望』(信山社)	6. 最初と最後の頁 507-547
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 49
2. 論文標題 都市空間形成における行政訴訟の役割 時間の契機から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 213-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 113(11)
2. 論文標題 「市街地整備2.0」と市街地再開発事業の公共性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 64-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 53
2. 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese Law--Is it Really Different from Chevron Deference?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6. 最初と最後の頁 45-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 -
2. 論文標題 都市計画争訟の特質と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 岡田正則他編『現代行政法講座III』(日本評論社)	6. 最初と最後の頁 79-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田中直樹	4. 巻 961
2. 論文標題 歴史学(者)の役割とはなにか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 164-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 植田啓太/窪田亜矢	4. 巻 87(797)
2. 論文標題 まちなかにおける空き地の変容と手入れに関する研究 -原発災害を受けた南相馬市小高区のまちなかを対象として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1220-1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.87.1220	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 植田啓太/永野正義/中島直人/宮城俊作/窪田亜矢	4. 巻 57(3)
2. 論文標題 原発被災後のまちなかにおける再建状況と解体後空き地の変容	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1385-1392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.57.1385	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢/植田啓太	4. 巻 87(802)
2. 論文標題 原発立地 (かつ)被災自治体である富岡町における開発経緯と空間変容	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2440-2451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.87.2440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀籠悠河/窪田亜矢	4. 巻 88(804)
2. 論文標題 最寄り品アクセス困難解決を支援する主体のなす相互関係に関する研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 524-535
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.88.524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 52(1)
2. 論文標題 大深度地下利用を奇貨として、今とは異なる都市計画を構想する	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 環境と公害	6. 最初と最後の頁 26-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 113(11)
2. 論文標題 都市計画における今とは異なる公共性のあり方	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 56-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 49
2. 論文標題 行政訴訟の新類型と環境事件	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 197-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 中途解約禁条項の対市場効果と違法性 - 「市場法としての消費者法」研究序説-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 沖野眞巳=丸山絵美子=水野紀子=森田宏樹=森永淑子『河上正二先生古稀記念 これからの民法・消費者法(2)』(信山社)	6. 最初と最後の頁 427-461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 27(6)
2. 論文標題 子ども政策の総合化とグローバル・コモンズ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 40-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 31
2. 論文標題 ポスト人文学を誰が担うのか？	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 近代教育フォーラム	6. 最初と最後の頁 149-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川貴彦	4. 巻 18
2. 論文標題 貧困と福祉の歴史学 イングランドの歴史的経験から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ジェンダー史学	6. 最初と最後の頁 5-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成原慧	4. 巻 88
2. 論文標題 ソーシャルメディアと法：つながりと分離・分断のガバナンス	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 法社会学	6. 最初と最後の頁 91-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成原慧	4. 巻 52
2. 論文標題 メタバースのアーキテクチャと法：世界創造のプラットフォームとそのガバナンス	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nextcom	6. 最初と最後の頁 24-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 成原 慧	4. 巻 -
2. 論文標題 プライバシー：プライバシー1.0、2.0、3.0、そしてその先のプライバシー	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 駒村圭吾（編）『Liberty2.0：自由論のバージョン・アップはありうるのか?』（弘文堂）	6. 最初と最後の頁 187-207
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 91(11)
2. 論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 69(2)
2. 論文標題 日本土地収用法における「私益収用」と「生活補償」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神戸法學雑誌	6. 最初と最後の頁 196-242
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 782
2. 論文標題 カジノを含むIR事業の「公益性」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学セミナー	6. 最初と最後の頁 22-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 角松 生史	4. 巻 22
2. 論文標題 第1部「参加原則の概観と環境法」へのコメント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 環境法政策学会誌	6. 最初と最後の頁 86-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田中直樹	4. 巻
2. 論文標題 フランス経済の二世紀	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 新しく学ぶフランス史	6. 最初と最後の頁 191-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田中直樹	4. 巻 42
2. 論文標題 東欧史研究会のアクチュアリティ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 70-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Current historians of the world, de-nationalhistoricize ourselves!: Reading the Writing the Nation series in Globalized Age	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Review of World Histories	6. 最初と最後の頁 In press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 -
2. 論文標題 環境規制における基本原則の機能	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 環境規制の現代的展開	6. 最初と最後の頁 18-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 28
2. 論文標題 無知な市民は反知性主義を超えられるか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代教育フォーラム	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木弘通	4. 巻 81
2. 論文標題 学界展望・憲法(二 人権)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 公法研究	6. 最初と最後の頁 251-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 進藤 兵	4. 巻 75
2. 論文標題 安倍政権の9条改憲・国一地方関係再編と憲法にもとづく地方自治	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊自治と分権	6. 最初と最後の頁 27-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村淳	4. 巻 134
2. 論文標題 ソーシャルワーカーと法に関する日英比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会福祉研究	6. 最初と最後の頁 91-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村淳	4. 巻 35
2. 論文標題 高齢者の所得保障と法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会保障法	6. 最初と最後の頁 48-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 NHK受信契約の成立	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成30年度重要判例解説	6. 最初と最後の頁 72-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 光平	4. 巻 -
2. 論文標題 子ども法における『複効的行政処分』と行政訴訟 - 児童虐待への司法関与と障害児の就学先決定を素材として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大橋洋一・仲野武志編『法執行システムと行政訴訟』弘文堂	6. 最初と最後の頁 113-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 172
2. 論文標題 学校外教育組織の法認と「学校」の応答性の喪失 - 教育機会確保法の批判的検討 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACADEMIA	6. 最初と最後の頁 39-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 -
2. 論文標題 解説	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 堀尾輝久『人権としての教育』	6. 最初と最後の頁 391-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KUBOTA Aya	4. 巻 84
2. 論文標題 STUDY ON ZONING IN NUCLEAR POWER PLANT DISASTER AREA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1947 ~ 1956
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1947	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KUBOTA Aya	4. 巻 84
2. 論文標題 STUDY ON THE PROCESS FROM WINNING LAWSUIT TO CONCILIATION IN THE DISASTER AREA OF ITAI-ITAI DISEASE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1789 ~ 1797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1789	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu	4. 巻 45
2. 論文標題 Inclusion and Seclusion in Area Management Activities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6. 最初と最後の頁 5-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu/Joel Rheuben	4. 巻 -
2. 論文標題 Japanese Information Disclosure Law	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blanke/Perlingeiro (eds.), The Right of Access to Public Information(Springer)	6. 最初と最後の頁 449-483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-662-55554-5_12	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 角松生史	4. 巻 24
2. 論文標題 日本における空き家問題の登場と法的対応	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 51-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 -
2. 論文標題 過少利用時代におけるコモンズの悲劇とアンチ・コモンズの悲劇	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 野呂充 / 岡田正則 / 人見剛 / 石崎誠也編 『現代行政とネットワーク理論』 (法律文化社)	6. 最初と最後の頁 143-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 -
2. 論文標題 類型論－学校事故	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 宇賀克也 / 小幡純子編『条解 国家賠償法』(弘文堂)	6. 最初と最後の頁 324-343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矯シュ / 楊雅舒 / 角松生史(訳)	4. 巻 23
2. 論文標題 翻訳: カトリーナ・ワイマン『正当な補償の基準』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 77-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 24
2. 論文標題 翻訳: ジェームス・J・ケリー・ジュニア『アメリカの市町村における空き家対策』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 67-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史 / 野田崇(訳)	4. 巻 24
2. 論文標題 翻訳: アルネ・ビルニオク『ドイツ法における空き家問題管理の中心的手段としての都市建設上の発展構想』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 105-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 角松生史	4. 巻 -
2. 論文標題 納の浦世界遺産訴訟 - 景観保全と公有水面埋立免許	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 別冊ジュリスト環境法判例百選(第3版)	6. 最初と最後の頁 138-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Odanaka	4. 巻 406
2. 論文標題 Lien personnel et structure spatiale	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Tohoku University TERG Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1月20日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 27号
2. 論文標題 原告適格と生活環境影響調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政法研究	6. 最初と最後の頁 159-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原勇進	4. 巻 -
2. 論文標題 裁判例における合理的な不安の判断基準	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 上智大学法学論集	6. 最初と最後の頁 27-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長谷川貴彦	4. 巻 917
2. 論文標題 コービン労働党の歴史的位置	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 107-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川貴彦	4. 巻 46(6)
2. 論文標題 歴史を語れば	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 110?117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 68
2. 論文標題 意図的契約違反と故意不法行為 -隠れた不履行による集団的被害の救済法理	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神戸法学雑誌	6. 最初と最後の頁 213-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本顯治	4. 巻 -
2. 論文標題 契約の機能 -プリンシパル=エージェント理論に基づく最適契約のデザイン	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 安永正昭=鎌田薫=能見善久監修 『債権法改正と民法学II』	6. 最初と最後の頁 341-376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西村淳	4. 巻 13
2. 論文標題 ケアの倫理と関係の権利に基づく社会保障制度の構想 イギリスのケア法制を手がかりに	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 年報公共政策学	6. 最初と最後の頁 207-222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木弘通	4. 巻 241
2. 論文標題 文学とわいせつ(2) 「悪徳の栄え」事件	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 別冊ジュリスト	6. 最初と最後の頁 114-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 90(9)
2. 論文標題 子ども法の基本構造と憲法上の親の権利	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 116-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 90(11)
2. 論文標題 児童虐待への国家介入 - 分析的考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 37-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田光平	4. 巻 462
2. 論文標題 民法成年年齢引下げ - 子ども法の視点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学教室	6. 最初と最後の頁 58-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 10
2. 論文標題 「労働者の像から都市の記述へ 酒井隆史氏の書評への応答,白波瀬達也「貧困と地域」への問い」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『理論と動態』	6. 最初と最後の頁 104-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口剛・平田周	4. 巻 21
2. 論文標題 「解題 プラネタリー・アーバニゼーションをめぐって」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『空間・社会・地理思想』	6. 最初と最後の頁 95-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原口剛	4. 巻 -
2. 論文標題 「船本洲治、解放の思想と実践」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 [新版]黙って野たれ死ぬな(船本洲治遺稿集刊行会)	6. 最初と最後の頁 15-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 TSUZUKI, Yukie, SHINGAKI Noriko	4. 巻 14
2. 論文標題 Issue Positions and Moral Concerns among Japanese College Students	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会イノベーション研究	6. 最初と最後の頁 97-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 27
2. 論文標題 ポストトゥルースの時代における教育と政治 : よみがえる亡霊、来たるべき市民	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 近代教育フォーラム	6. 最初と最後の頁 31-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小玉重夫	4. 巻 60
2. 論文標題 「労働と教育」再考	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本労働研究雑誌	6. 最初と最後の頁 60-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 197
2. 論文標題 教育の直接責任制を学校に「埋め戻す」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊教育法	6. 最初と最後の頁 56-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 870
2. 論文標題 教育の「無償性」と「無償化」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育	6. 最初と最後の頁 43-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 世取山洋介	4. 巻 62
2. 論文標題 日本における子ども期の貧困化：「子どもの権利条約」の国連審査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊社会教育	6. 最初と最後の頁 3-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計41件（うち招待講演 13件 / うち国際学会 22件）

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 被災者支援の基礎理論
3. 学会等名 第10回洪水リスク管理に関する研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 田村報告へのコメント - メタファとしての財産権
3. 学会等名 ワークショップ「財産権というレトリック・メタファ」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 Legal countermeasures against COVID-19 in Japan: Between voluntariness and coercion
3. 学会等名 BANGI SALAD2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 都市空間形成における行政訴訟の役割 時間の契機から
3. 学会等名 公開シンポジウム「訴訟類型の多様化と個別行政法」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings"
3. 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan
3. 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 How can the land law address “underuse” issues?-the case of Japan
3. 学会等名 LAW AND DEVELOPMENT IN A TIME OF CRISES” INTERNATIONAL CONFERENCE (National Legal Institute, Mongolia)? (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The Tragedies of Commons and the Tragedies of Anticommons in an Era of Underuse
3. 学会等名 Kobe SALAD Online 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 Compensation for Vaccines in Japan- Administrative Relief System and Court Cases
3. 学会等名 WS “Liability and No-fault Compensation Systems for Vaccines” ? (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 水害と国家賠償
3. 学会等名 河川財団・水害研究会勉強会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The Tragedies of Commons and the Tragedies of Anticommons in an Era of Underuse
3. 学会等名 中国政法大学法学院 ” 公法与治理 ” 系列講座第二十八期（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 窪田亜矢
2. 発表標題 活用を拒む空き地は、アーバニズムに何を示唆しているのか？
3. 学会等名 日本建築学会都市計画部門 パネルディスカッション（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 窪田亜矢
2. 発表標題 良好な社会ストックの維持活用
3. 学会等名 日本建築学会 建築SDGs宣言推進特別調査委員会研究協議会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 窪田亜矢
2. 発表標題 原発災害・放射能汚染という環境破壊である公害に、どのように対応するのか？
3. 学会等名 日本建築学会 原発長期災害対応特別研究委員会地球環境部門 パネルディスカッション（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The formation of regional space by agreements
3. 学会等名 KU Leuven- Kobe University Academic Symposium: Regulation and governance in an interdisciplinary perspective (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 ヘイトスピーチ対策の法律問題
3. 学会等名 京都府人権問題特別研修第9回 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 " Takings for private Use " and " Compensation for Living Rights " in Japan
3. 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The Precautionary Principle as a Decision-Making Strategy
3. 学会等名 Seminar: Shanghai Jiaotong University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 “ Takings for private Use ” and “ Compensation for Living Rights ” in Japan
3. 学会等名 Special Lecture: Shanghai University of Finance and Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The Tragedies of Commons and Anticommons in an Era of Underuse
3. 学会等名 Jagiellonian University and Kobe University Workshop: Legal Methodology - International and Comparative Perspective (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mikiko Matsumoto
2. 発表標題 Concept of Legal Persons and the Autonomy of Villagers ' Committees in China
3. 学会等名 KU Leuven- Kobe University Academic Symposium: Regulation and governance in an interdisciplinary perspective (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田中直樹
2. 発表標題 東欧史研究会のアクチュアリティ
3. 学会等名 東欧史研究会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoki Odanaka
2. 発表標題 How to narrate the 'city problem' and the 'city policy' in post-war France: the case of Montpellier
3. 学会等名 International Symposium on "Regulation and Governance in an Interdisciplinary Perspective,"
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shigeo Kodama
2. 発表標題 Citizenship Education in Japan
3. 学会等名 The International Conference on Citizenship/Social Studies Education (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jun Nishimura
2. 発表標題 Structure of Personal Social Services in the Regional Space
3. 学会等名 KU Leuven- Kobe University Academic Symposium: Regulation and governance in an interdisciplinary perspective (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西村淳
2. 発表標題 高齢者の所得保障と法
3. 学会等名 日本社会保障法学会第74回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田 光平
2. 発表標題 行政法からみた養子法 - もしくは子どもの権利条約からみた養子法
3. 学会等名 日本家族<社会と法>学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原口 剛
2. 発表標題 港湾労働者の労災職業病闘争と「空間の政治」
3. 学会等名 日本地理学会 2020年春季学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 日本土地収用法における『私益収用』と生活再建補償
3. 学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 楊雅舒
2. 発表標題 中国における収用と補償
3. 学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李明芝
2. 発表標題 台湾の土地収用制度における公共利益の認定について
3. 学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ソ・ヌリ
2. 発表標題 私人のための公用収用における『公共の必要』の意義 韓国憲法裁判所判例を素材に
3. 学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本未希子
2. 発表標題 中国における『基層群衆性自治組織』の法的統制
3. 学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題 The Commons and Anticommons in an Era of Underuse
3. 学会等名 Bangi Salad(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 コメント：シンポジウム「環境法における参加」
3. 学会等名 環境法政策学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小田中直樹
2. 発表標題 パーソナライズド・グローバルヒストリーの可能性
3. 学会等名 シンポジウム：16 - 19世紀東アジア国際秩序の成立と変容の研究(4)（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西村淳
2. 発表標題 ソーシャルワークと法の関係に関する日英比較
3. 学会等名 日本社会福祉学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西村淳
2. 発表標題 ケアの倫理に基づく保健福祉制度の構想
3. 学会等名 日本保健福祉学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西村淳
2. 発表標題 高齢者の所得保障制度体系の検討
3. 学会等名 日本年金学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeshi HARGUCHI
2. 発表標題 'State-led Gentrification and Revanchism in the Olympic City: The case study of Tokyo'
3. 学会等名 East Asian Regional Conference in Alternative Geography (EARCAG) 9th Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 角松生史
2. 発表標題 空間を媒介とした関係の法的保護 互換的利害関係及び生活再建補償を例として
3. 学会等名 SC研究会ワークショップ
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 Narufumi Kadomatsu/James J. Kelly Jr./Romain Melot/Arne Pilniok	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 81
3. 書名 Legal Responses to Vacant Houses	

1. 著者名 川崎興太, 窪田亜矢ら	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 248
3. 書名 福島復興10年間の検証：原子力災害からの復興に向けた長期的な課題	

1. 著者名 Yuka Kaneko/Narufumi Kadomatsu/Brian Z. Tamanaha(eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 307
3. 書名 Land Law and Disputes in Asia : in Search of an Alternative for Development	

1. 著者名 角松生史, /山本顯治/小田中直樹/窪田亜矢編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 336
3. 書名 縮小社会における法的空間－ケアと包摂?	

1. 著者名 小田中直樹	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 176
3. 書名 歴史学のトリセツ	

1. 著者名 長谷川貴彦・成田龍一 編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 212
3. 書名 世界史をいかに語るか : グローバル時代の歴史像	

1. 著者名 リン・ハント(長谷川貴彦訳)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 120
3. 書名 なぜ歴史を学ぶのか	

1. 著者名 長谷川貴彦 編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 273
3. 書名 エゴ・ドキュメントの歴史学	

1. 著者名 L・ダヴィドフ, C・ホール著 (長谷川貴彦他訳)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 509
3. 書名 家族の命運 : イングランド中産階級の男と女 : 1780 ~ 1850	

1. 著者名 小田中直樹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 212
3. 書名 フランス現代史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小田中 直樹 (ODANAKA Naoki) (70233559)	東北大学・経済学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	桑原 勇進 (KUWAHARA Yushin) (40287032)	上智大学・法学部・教授 (32621)	
研究分担者	小玉 重夫 (KODAMA Shigeo) (40296760)	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・教授 (12601)	
研究分担者	佐々木 弘通 (SASAKI Hiromichi) (70257161)	東北大学・法学研究科・教授 (11301)	
研究分担者	進藤 兵 (SHINDO Hyo) (20242050)	都留文科大学・文学部・教授 (23501)	2021.4～ 都留文科大学教養学部教授

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	都築 幸恵 (TSUZUKI Yukie) (00299885)	成城大学・社会イノベーション学部・教授 (32630)	
研究分担者	西村 淳 (NISHIMURA Jun) (20746523)	神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・教授 (22702)	
研究分担者	長谷川 貴彦 (HASEGAWA Takahiko) (70291226)	北海道大学・文学研究院・教授 (10101)	
研究分担者	山本 顯治 (YAMAMOTO Kenji) (50222378)	神戸大学・社会システムイノベーションセンター・教授 (14501)	2022.4-2023.3 神戸大学大学院法学研究科教授
研究分担者	横田 光平 (YOKOTA Kohei) (10323627)	同志社大学・司法研究科・教授 (34310)	
研究分担者	世取山 洋介 (YOTORIYAMA Yosuke) (90262419)	新潟大学・人文社会科学系・教授 (13101)	2021.11 逝去

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	俞 珍式 (YOO Jin Sik)	全北大学校・法学専門大学院・教授	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ヴァンオーヴェルベーク デイミトリ (VANOVERBEKE Dimitri) (00933409)	ルーヴェン・カトリック大学・文学部・教授	2021.4- 東京大学大学院法学政治学研究科教授(研究者番号00933409)
研究協力者	内野 美穂 (UCHINO Miho)	神戸大学・大学院法学研究科・博士課程後期課程	
研究協力者	松本 未希子 (MATSUMOTO Mikiko)	神戸大学・大学院法学研究科・博士課程後期課程	2022.4- 桃山学院大学法学部講師(研究者番号00961343)
研究協力者	ソ ノリ (SE Noori)	神戸大学・大学院法学研究科・博士課程後期課程	2022.4- 神戸大学大学院法学研究科研究助手(研究者番号40962973)
研究協力者	尾下 悠希 (OSHITA Yuki)	神戸大学・大学院法学研究科・博士課程後期課程	
連携研究者	窪田 亜矢 (KUBOTA Aya) (30323520)	東京大学・工学研究科・特任教授 (12601)	2021.4- 東京大学・生産技術研究所 特任研究員
連携研究者	原口 剛 (HARAGUCHI Takeshi) (40464599)	神戸大学・人文学研究科・准教授 (14501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 東アジア土地収用制度に関するワークショップ	開催年 2019年～2019年
---------------------------------	--------------------

国際研究集会 Regulation and governance in an interdisciplinary perspective	開催年 2020年～2020年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ベルギー	KUルーヴェン			
韓国	全北大学校			